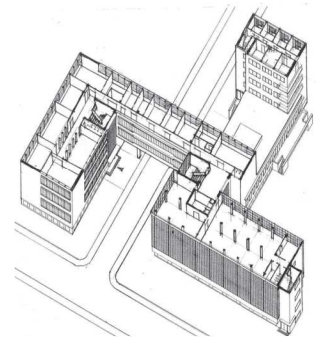


2018
連続講座

20世紀の 建築空間遺産



設計とは、人々がそこで生きる内外空間を、要求、プログラムに基づき、機能性や快適性、経済性を満たすべく効果的に秩序づけ、編成することです。本講座では、形象意匠・オブジェとしての建築ではなく、内外空間に注目し、20世紀の建築空間の発展・展開において普遍に開く意義がある現存建築を時系列にそって選び、その建築の空間構成と質を確かめます。それを通じ、価値が共有され、遺産として未来に受け継がれる一助になること、参加者の仕事の糧になることを目指します。

第1回 20世紀の建築空間の先駆け

2/14 ウィーンの郵便貯金局 (1906)
ロビー邸 (1909)

第2回 モダニズム建築空間の誕生

3/14 シュレーダー邸 (1924)
(同時代の建築：エイヘン・ハール集合住宅 (1919～1923))
バウハウス校舎 (1926)
(同時代の建築：ブリッツ・ジートルング (1925～1930))

第3回 モダニズム空間の展開

4/11 チューゲンハット邸 (1930)
サヴォワ邸 (1931)

第4回 理想的な労働空間の追求——ヨーロッパとアメリカ

5/9 ファンネル煙草工場 (1930)
ジョンソン・ワックス本社 (1939)

第5回 戦後復興期の建築空間—地域性重視と普遍性志向

6/13 サイナツツロの村役場 (1952)
ユニテ・ダビタシオン (1952)

第6回 無限定空間と単位空間集合

7/11 IITクラウンホール (1956)
子供の家 (1960)

第7回 チームXに集結した英国建築家の追究空間

9/12 レスター大学工学部棟 (1963)
エコノミストビル (1965)

第8回 '60年代以降のアメリカの建築空間の多様な展開

10/10 シーランチ・コンドミニアム (1966)
フォード財団本部 (1967)
イエール大学英国美術研究所 (1974)

第9回 文脈重視とハイテク志向—80年代ヨーロッパの建築空間

11/14 シュッツガルト州立美術館 (1983)
ロイズ・ビル (1986)
アラブ世界研究所 (1987)

第10回 空間編成の新たな展開とリノベーション

12/12 エディカトリウム (1997)
新ドイツ国会議事堂 (1999)



『建築とまちづくり』誌の連載（'15年9月～'17年10月号）に基づく。
 新建東京支部HPに掲載 <https://goo.gl/WHbGpX>

講師：小林 良雄

新建築家技術者集団 全国幹事会顧問

1963年 早稲田大学第I理工学部建築学科卒業
 芦原義信建築設計研究所入所
 主な担当建築 ○武蔵野美術大学本館
 ○国立歴史民俗博物館
 ○横浜女性フォーラム
 1993年 地域建築空間研究所設立 現在に至る
 共著「現代都市のリデザイン」

開催日時

2月～12月（8月は除く）第2水曜 19～21時

受講料

一般：1,000円/回、学生：500円/回

会場

都市住宅とまちづくり研究会
 東京都千代田区神田東松山下町33 COMS HOUSE 2階

